

2019年4月26日
商工中金

「タイ・インバウンドセミナー in 大分」の開催報告

商工中金（代表取締役社長 関根 正裕）は、2019年4月25日にトキハ会館（大分市）にて「タイ・インバウンドセミナーin 大分」を開催しました。過去最多となった昨年の訪日外国人3,119万人のうち、タイからの訪日客は初めて100万人を超え、113万人と中国や韓国などに次ぐ6番目となり、タイ人インバウンド需要の取り込みが大きな関心事となっています。

講演会は、株式会社エイチ・アイ・エス（以下、H I S）東南アジア統括営業本部統括部長の中村謙志氏、バンコック銀行エグゼクティブバイスプレジデントの小澤仁氏、をそれぞれ講師としてお招きし、インバウンド需要の取り込みを目指す中小企業経営者等、約100名の皆さまにご参加いただきました。

H I Sの中村氏は、「訪日外国人の現状とタイ人観光客の誘致策」と題し、訪日タイ人観光客の現状とその誘致策をデータや豊富な実例とともに紹介され、バンコック銀行の小澤氏は、「タイ人の嗜好と観光プラン」と題し、タイ駐在歴20年の経験から見たタイ人の特徴とその特徴を踏まえた地域別観光プランを提言されました。講演後の質疑応答では、「タイでのキャッシュレス決済の進展について」や「受け入れ側としてキャッシュレスに対応する必要があるか？」といった質問も出るなど、聴講者の関心の高さが伺えました。

商工中金は、関係機関と連携し、金融サービスのみならず、専門分野に特化した情報提供を通して、中小企業の事業拡大や販路開拓を幅広くサポートして参ります。



（写真右上：バンコック銀行 小澤氏、写真右下：H I S 中村氏）

【タイ・インバウンドセミナー in 大分の概略】

開催日時	2019年4月25日（木）13:00～15:30
主催	株式会社商工組合中央金庫、株式会社大分銀行
共催	株式会社豊和銀行
後援	大分県、大分市、別府市、大分県中小企業団体中央会、 大分県旅館ホテル生活衛生同業組合、ジェトロ大分、大分合同新聞社